

平成28年7月5日

文化庁メディア芸術祭広島展「*Hiroshima*Media Arts」の開催

文化庁では、広島市においてメディアアート、映像、ゲーム、ウェブ、アニメーション、マンガ等のメディア芸術作品を総合的に展示・上映する展覧会「*Hiroshima*Media Arts」を開催いたしますので、お知らせいたします。

1. 概要

文化庁では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバル「文化庁メディア芸術祭」を実施しています。

この受賞作品を中心に、優れたメディア芸術作品の鑑賞機会を提供するため、平成14年度より国内の様々な都市において展覧会を開催しています。このたび、文化庁メディア芸術祭広島展として展覧会「*Hiroshima*Media Arts」を別紙のとおり開催いたします。

2. 会期等

会期：平成28年8月13日（土）～9月2日（金）10:00～18:00（最終入館17:30まで）

会場：旧日本銀行広島支店（広島市中区袋町5-21）ほか

入場料：無料

3. 主催等

主催：文化庁

共催：広島市、公益財団法人広島市文化財団

運営：文化庁メディア芸術祭広島展開催委員会（事務局：TSS ソフトウェア）

4. 問合せ先

文化庁メディア芸術祭広島展開催委員会（事務局：TSS ソフトウェア）

電話：080-2936-7231 Mail：info@mediaarts-hiroshima.com

<担当>文化庁文化部芸術文化課

支援推進室メディア芸術交流係

支援推進室長 柏田 昭生（内線 2858）

支援推進室長補佐 鈴木 康彦（内線 2062）

メディア芸術交流係長 中臺 正明（内線 2895）

電話：03-5253-4111（代表）

メディアアート、映像、ゲーム、ウェブ、アニメーション、マンガなどを紹介する

展覧会を、旧日本銀行広島支店をメイン会場に開催いたします。

文化庁メディア芸術祭広島展「* Hiroshima * Media Arts」は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどのメディア芸術の優れた作品を顕彰する「文化庁メディア芸術祭」の最新の受賞作品を中心に展示・紹介する展覧会です。被爆建物である旧日本銀行広島支店をメイン会場にして、作品展示、上映、ライブパフォーマンスなどを市内6カ所で8月13日から9月2日まで行います。

テーマ「* Hiroshima * Media Arts」には、コンピュータで乗算を意味する「*」をキーワードに、広島とメディア芸術を*乗算し、平和が世界に*拡散していくようにとの願いが込められています。これまでの受賞作品とともに、広島ゆかりの作家による作品も展示し、メディア芸術の持つ親しみやすさや楽しさとともに、新しいテクノロジーによる多様な表現を紹介します。

■開催概要

名 称	文化庁メディア芸術祭広島展
テ ー マ	* Hiroshima * Media Arts
会 期	平成28年8月13日[土]-9月2日[金] 21日間開催
観覧時間	10:00-18:00(入館は17:30まで) ※一部会場は9:30-17:00(入館は16:30まで)
U R L	http://www.mediaarts-hiroshima.com/
入 場 料	無料
会 場	メイン会場／旧日本銀行広島支店(被爆建物／広島市指定重要文化財) サテライト会場／頼山陽史跡資料館、広島市こども文化科学館「アポロホール」、 中央公園西側河岸緑地、JMS アステールプラザ、 合人社ウエンディひと・まちプラザ北棟 6F
主 催	文化庁
共 催	広島市、公益財団法人広島市文化財団
後 援	広島県、広島市教育委員会、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、 広島ホームテレビ、テレビ新広島、NHK 広島放送局、広島エフエム放送、 FM ちゅーぴー
協 力	比治山大学短期大学部、広島国際学院大学、広島市立大学、頼山陽史跡資料館、 合人社ウエンディひと・まちプラザ、広島市こども文化科学館、広島市まんが図書館、 呉市立美術館、協同組合 CG ファクトリー広島、特定非営利活動法人広島アニメーションシティ、 広島メディア芸術振興プロジェクト会議、ポップラ・ペアレンツ・クラブ、 公益財団法人画像情報教育振興協会、株式会社バース企画
お問合せ先	文化庁メディア芸術祭広島展開催委員会(事務局:TSS ソフトウェア) 〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番19号 TEL:080-2936-7231 Email info@mediaarts-hiroshima.com



Hiroshima Media Arts

メディア芸術を通じて 広島のパワーの * 星が * 放射状に拡散する。
広島とメディア芸術が * 乗算されて平和が世界へひろがる。

広島が発信する平和という星 (*) を
メディアと芸術の乗算 (*) によって
世界に向けて拡散 (*) させたいとの思いを込める。

「ヒロシマ」は世界史上初めて原子爆弾が投下された都市で、8月6日一瞬のうちに焦土と化しましたが、その後奇跡の復興を遂げ、今や国際平和文化都市として世界的に知られ、核兵器廃絶と世界恒久平和を発信し続けています。

被爆71周年を迎える今年8月、広島のパワーを見守り続けてきた旧日本銀行広島支店という被爆建物をメイン会場として、広島市で初めて文化庁メディア芸術祭地方展を開催します。

本展は、「* Hiroshima * Media Arts」をテーマに、メディア芸術の特徴でもある多様な表現の作品を集め、紹介しています。また、建物が持つ場の力を生かし、「原爆」や「平和」をキーワードにした作品も取り上げています。

本展は、広島のみならず、新しいメディア芸術に触れていただく機会になるとともに、同時期に開催する世界四大アニメーション映画祭の一つである広島国際アニメーションフェスティバルや、世界遺産原爆ドーム等を訪れる国内外からの来広者にとっても、メディア芸術の素晴らしさを体感する機会となります。

文化庁メディア芸術祭とは

文化庁メディア芸術祭は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。

平成9年度(1997年)の開催以来、高い芸術性や創造性を持つ優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウムなどの関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

また、受賞作品を中心に、優れたメディア芸術作品を総合的に紹介する展覧会を国内外で開催しています。



第19回受賞作品展
(国立新美術館/東京・六本木)

旧日本銀行広島支店 1F

1 MANGA * HIROSHIMA

東村 アキコ『かくかくしかじか』など、第 19 回文化庁メディア芸術祭マンガ部門受賞全作品を紹介。
また歴代の文化庁メディア芸術祭の中から広島にゆかりのあるマンガを集めて紹介します。

かくかくしかじか

第 19 回マンガ部門大賞

東村 アキコ



©Akiko HIGASHIMURA / SHUEISHA

少女マンガ家を夢見ていた頃から、夢を叶えてマンガ家になるまでとその後の半生を題材にした自伝的作品。「自分は絵がうまい」とうぬぼれていた高校 3 年生の林明子（はやしあきこ）は、美術大学入学を志し、海の近くにある美術教室に通うこととなる。そこで出会った絵画教師・日高健三（ひだかけんぞう）は、初対面で絵画教師とは思えない強烈なインパクトを放ち、明子が描いたデッサン作品を見るなり、竹刀を振りかざして「下手くそ」と言い切った。そこから日高先生と明子、2 人の物語が始まっていく。作者の人生に大きな影響を与えた恩師との数々の思い出とともに、自らの高校生活から大学での生活、そしてマンガ家デビューへの道のりを描く。マンガを「描く」ことへの愛が、個性的なキャラクターたちとさまざまなエピソードを通して表現され、笑いと涙の要素が随所に盛り込まれた作品。

■マンガライブラリー 会場内のライブラリーにて展示。昨年のすべての受賞作品のマンガと広島ゆかりのマンガを自由にご覧いただけます。

第 19 回文化庁メディア 芸術祭マンガ部門受賞作品

かくかくしかじか（大賞） 東村 アキコ
淡島百景（優秀賞） 志村 貴子
弟の夫（優秀賞） 田亀 源五郎
機械仕掛けの愛（優秀賞） 葉田 良家
Non-working City（優秀賞） HO Tingfung
エソラゴト（新人賞） ネルノダイスキ
たましい いっぱい（新人賞） おくやま ゆか
町田くんの世界（新人賞） 安藤 ゆき

広島関連 マンガ作品

ジバング（江田島市）：5-6 回推薦／かわぐちかいじ（尾道市出身）
太陽の黙示録：第 10 回大賞／かわぐちかいじ（尾道市出身）
カバチタレ！（広島市）：第 5 回推薦／東風 孝広（呉市出身）
アニメが仕事！：第 9 回推薦／石田 敦子（福山市出身）
星守る犬（東広島市）：第 12 回推薦／村上 たかし
夕風の街 桜の国（広島市）：第 8 回大賞／この 史代（広島市出身）
この世界の片隅に（呉市）：第 13 回優秀賞／この 史代（広島市出身）
すべてがちょっとずつ優しい世界：第 17 回推薦作品／西島 大介（広島市在住）
五色の舟：第 18 回大賞／近藤 ようこ、原作 津原 泰水（広島出身）

2 HIROSHIMA * ART

本展では広島で活動している作家にも焦点を当てます。
インタラクティブ作品とアニメーション作品の 2 作品を紹介します。

AIR SHODOU

SHAREFL

開かれた遊び、忘れる眼

第 16 回アート部門審査委員会推薦作品

ALIMO

3 DRONE * ART

文化庁メディア芸術祭には新しいテクノロジーによる新しい表現だけでなく、それに対する批評的な視点を持つ作品も選ばれています。ドローンを題材にしたアート作品と、天空からの視点をテーマにした写真を展示します。

Drone Survival Guide

第 18 回アート部門優秀賞

Ruben PATER



©Ruben Pater

一般的に使用されているドローン（無人航空機）26 種のシルエットと、それらの使用用途、国籍、そして無人航空機の偵察や攻撃から身を守るためのサバイバル・ガイドを記載したパンフレット。本作は、近い将来には身近になるこの飛行体に、私たちが慣れ親しみ熟知することを目的に制作された。無人航空機が私たちの上空を飛び回ることをごどのような条件で許容し、どうやって事故を回避するのか。本作は、無人航空機に関する知識を普及し、こうした状況をより身近に議論していく必要性を示唆している。

Dronestagram

第 17 回アート部門優秀賞

James BRIDLE

My Sputnik

第 16 回アート部門審査委員会推薦作品

古屋 和臣

4 BIO * ART

文化庁メディア芸術祭では生物や生命をテーマにしていたり、バイオテクノロジーを使った作品なども選ばれています。第 19 回のアート部門優秀賞を含む 2 作品を展示します。

（不）可能な子供、01: 朝子とモリガの場合

第 19 回アート部門優秀賞

長谷川 愛

金魚解放運動

第 18 回アート部門審査委員会推薦作品

石橋 友也

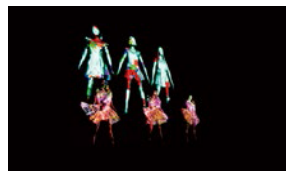
※作品やスケジュールについては予定のものです。変更される可能性もありますので予めご了承ください。

5 ENTERTAINMENT * TECHNOLOGY

第16回エンターテインメント部門大賞の「Perfume "Global Site Project"」など、広島出身のテクノポップユニット「Perfume」をキーワードに、先端テクノロジーを駆使したライブやミュージックビデオ、ウェブサイトなどをまとめて紹介します。



©Amuse, Inc. + UNIVERSAL MUSIC LLC + Rhizomatiks co.,ltd. + DENTSU INC
Perfume ライブ「SXSW 2015」



©AMUSE Inc./UNIVERSAL MUSIC LLC./Rhizomatiks co., ltd.
Perfume World Tour 2nd



©株式会社ライゾマティクス + 株式会社アミューズ + ユニバーサル ミュージック合同会社
Perfume "Global Site Project"

Perfume LIVE@東京ドーム『1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11』	第15回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	MIKIKO+Perfume
NATURAL BEAUTY BASIC 2010 秋冬キャンペーン	第15回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	増山 晶/佐藤 朝子/土屋 泰洋/児玉 裕一
Perfume "Global Site Project"	第16回エンターテインメント部門大賞	真鍋 大度/MIKIKO/中田 ヤスタカ/堀井 哲史/木村 浩康
Perfume World Tour 2nd	第17回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	MIKIKO/Rhizomatiks/中田 ヤスタカ/TAKCOM/三田 真一/櫻井 利彦/evala
Perfume ライブ「SXSW 2015」	第19回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	Perfume/MIKIKO/中田 ヤスタカ/真鍋 大度/花井 裕也/石橋 素/堀井 哲史/菅野 薫

6 ART * ENTERTAINMENT * TECHNOLOGY

アートとエンターテインメントの境界を横断し、テクノロジーを駆使した表現で注目を集める「ライゾマティクス」のメンバーによる作品は文化庁メディア芸術祭で度々受賞しています。今年10周年を迎える彼らの作品を紹介します。



©Honda Motor Co., Ltd. and its subsidiaries and affiliates
Sound of Honda / Ayrton Senna 1989



©YASKAWA x Rhizomatiks x ELEVENPLAY
YASKAWA x Rhizomatiks x ELEVENPLAY



センシング・ストリームズ 一不可視、不可聴

©SAKAMOTO Ryuichi / MANABE Daito

points	第14回アート部門審査委員会推薦作品	真鍋 大度/石橋 素 (4nchor5 La6)
やくしまるえつこ「ヴィーナスとジーザス」	第14回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	真鍋 大度
Nike Music Shoe	第14回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	伊藤 直樹/フランク ハーン
particles	第15回アート部門優秀賞	真鍋 大度 / 石橋 素
The Museum of Me	第15回エンターテインメント部門優秀賞	田中 耕一郎 / 谷川 英司 / 藤原 精一 / 坂本 政則 / 村山 健
the Way Sensing GO+	第13回アート部門審査委員会推薦作品	the Way Sensing GO + 制作チーム代表 真鍋 大度
Full Control Tokyo	第17回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	Full Control Tokyo 制作チーム
センシング・ストリームズ 一不可視、不可聴	第18回アート部門優秀賞	坂本 龍一/真鍋 大度
Sound of Honda / Ayrton Senna 1989	第17回エンターテインメント部門大賞	菅野 薫/保持 壮太郎/大来 優/キリーロパナージャ/米澤 香子/関根 光才/澤井 妙治/真鍋 大度
YASKAWA x Rhizomatiks x ELEVENPLAY	第19回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	真鍋 大度/MIKIKO/石橋 素

他 4 作品

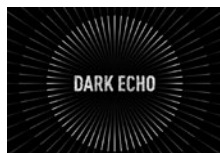
※作品やスケジュールについては予定のものです。変更される可能性もありますので予めご了承ください。

7 MICRO * MACRO

ミクロやマクロの視点でとらえた自然界の動きや生命の蠢きを、プログラムと手描きの異なる手法で描いている2作品と、人の動きを認知科学の知見を用いて表現した作品を上映します。

Imaginary・Numbers 2006	第10回 アート部門大賞	木本 圭子
Rhizome	第19回アニメーション部門大賞	Boris LABBÉ
ISSEY MIYAKE A-POC INSIDE.	第11回アート部門優秀賞	佐藤 雅彦 + ユーフラテス

旧日本銀行広島支店 3F



©RAC7 Games Inc.

8 SOUND * GAME

足跡と反響音を頼りに暗闇から脱出するホラーゲームを広島展用の特別バージョンで展示します。高い解像度の映像が話題となるゲームが多い中、映像ではなく音が主体となっている珍しい作品です。

Dark Echo	第19回 エンターテインメント部門優秀賞	Jesse RINGROSE / Jason ENNIS
-----------	----------------------	------------------------------



©クワクボ リョウタ

9 INTERACTIVE * ART

新しい技術によって様々な反応が返ってくるインタラクティブ作品が増えていますが、技術依存ではなく、観客と作品との間のインタラクティブとは何かを問いかける作品です。

10番目の感傷(点・線・面)	第14回 アート部門優秀賞	クワクボ リョウタ
----------------	---------------	-----------

10 GADGETS * MAKE



DANCING PAPER

©UGOITA

デジタル技術の広がりは映像だけでなく、ガジェットなどのモノづくりにも広がっています。広島展おすすめの個人やグループによるガジェットなどを紹介します。

DANCING PAPER	第19回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	動いた。
2.5 次元マスク	第19回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	くわがた / 岩瀬 真紀 / 宮崎 まり
感情纏身装身具	第19回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	片貝葉月
仕込み iPhone	第17回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品	森 翔太
勝手に入るゴミ箱	第16回エンターテインメント部門優秀賞	倉田 稔

11 SHORT ANIMATION * HIROSHIMA ※ 8月23日より上映

自然界や人々の営みから「命」を表現している短編アニメーションを上映します。

Rhizome	第19回 アニメーション部門大賞	Boris LABBÉ
Isand (The Master)	第19回アニメーション部門優秀賞	Riho UNT
息ができない	第19回アニメーション部門審査委員会推薦作品	木畠 彩矢香
The Sense of touch	第18回アニメーション部門優秀賞	Jean-Charles MBOTTI MALOLO
ゴールデンタイム	第17回アニメーション部門優秀賞	稲葉 卓也
WHILE THE CROW WEEPS 一カラスの涙一	第17回アニメーション部門新人賞	鋤柄 真希子 / 松村 康平

旧日本銀行広島支店 B1F



© Envie de Tempete Productions

12 HISTORY * ART

原爆ドームに関する膨大な写真を丹念につないでいくことで、一つの歴史を紡ぎ出したドキュメンタリー映像。第11回アート部門で大賞を受賞した映像作品を上映します。

nijuman no borei	第11回 アート部門大賞	Jean-Gabriel PERIOT
------------------	--------------	---------------------

※作品やスケジュールについては予定のものです。変更される可能性もありますので予めご了承ください。

サテライト会場 ※イベント、上映等は全て参加無料

■ 瀬山陽史跡資料館 ※月曜日及び 8 月 29・30・31 日休館 ※文化庁メディア芸術祭広島展のみ入場無料
※観覧時間 9:30-17:00(入館は 16:30 まで)

算道

第 19 回 アート部門新人賞

山本 一彰

ほったまるびより

第 19 回 エンターテインメント部門新人賞

吉開 菜央



©NaoYoshigai

「おどりとはなにか」をテーマに、言語表現を極限まで削り「女の子のからだ」とその「動きから生まれる音」で表現された映像作品。タイトルにある「ほったまる」とは「ほっておくとたまるもの」の略語であり、髪の毛や爪、足の裏の皮など身体から出る落としもの、あるいは日々の生活で蓄積されるさまざまなにおいを指す造語。ダンサーでもある作者が、腹の底から湧き上がってくる得体のしれない感情・感覚をからだでつづった「おどる映画」である。

■ 広島市こども文化科学館「アポロホール」

正しい数の数え方

第 19 回 エンターテインメント部門大賞

岸野 雄一



©2015 Out One Disc

本作は、子どもたちのための音楽劇であり、人形劇＋演劇＋アニメーション＋演奏といった複数の表現で構成される、観客参加型の作品である。古来から存在する人形劇というアナログな手法と、インタラクティブなテクノロジーが随所で融合し、物語は展開していく。同年に東京で行なわれた公演では、作者率いるバンド「ワッツタワーズ」の生演奏も加わり、より挑戦的な試みが行なわれた。舞台芸術の可能性の拡張に挑んだ意欲的なエンターテインメント・ショーである。

日時: 8 月 19 日 [金] 13:00-14:00
15:30-16:30

定員: 250 人

※要事前申込み (8 月 5 日 [金] 必着)

■ 中央公園西側河岸緑地

マイマイ新子と千年の魔法

第 14 回 アニメーション部門優秀賞

片瀬 須直



© 2009 高樹のぶ子・マガジンハウス / 「マイマイ新子」製作委員会

日時: 8 月 20 日 [土] 17:30-21:00 ※雨天時翌日に順延

※要事前申込み (8 月 6 日 [土] 必着)

詳しい情報は POP'La Parents Club HP をご確認ください。

● プレイイベント

ゲストトーク / 片瀬須直監督もあります

芥川賞作家・高樹のぶ子が自らの幼少時代をモデルに描いた小説「マイマイ新子」をアニメ映画化。昭和 30 年代の山口県防府市国衙(こくが)を舞台に、小学 3 年生の多感な少女・新子が、千年前の町の姿に想いを馳せながら、豊かな自然の中で毎日を真剣に生き、時にヒリヒリとした苦い思いをしながら、仲間たちとゆっくり成長していく姿が描かれる。

■ JMS アステールプラザ

第 16 回広島国際アニメーションフェスティバル開催期間中、サブイベント会場(映像メディアゾーン)において、文化庁メディア芸術祭広島展の様子を紹介します。

第 16 回広島国際アニメーションフェスティバル: <http://hirooaninm.org/>

※作品やスケジュールについては予定のものです。変更される可能性もありますので予めご了承ください。

■合人社ウェンディひと・まちプラザ北棟 6 F

世界でも特異な存在である日本のアニメーションの中から、新しい表現を探索した長編アニメーション作品を中心にスクリーン上映します。

花とアリス殺人事件

第19回アニメーション部門優秀賞

岩井 俊二



©2015 "the case of hana & alice" Film Partners

実写映画のつくり手として広く知られる作者の初の劇場用長編アニメーション作品である。作者が監督を務めた実写映画『花とアリス』(2004)制作直後から構想が立てられた本作は、当時と同じキャストが集められ、プロローグとなる荒井花(あらいはな)(通称:ハナ)と有栖川徹子(ありすがわてつこ)(通称:アリス)の2人の出会いのエピソードが語られる。実写で撮影した動画をもとにアニメーションとして描き起こす制作技法「ロトスコープ」と、セル画で制作されたアニメの質感を追求する「セルラック3DCG」の手法を組み合わせた映像によって、小さな出来事の瞬間瞬間を真剣に受け止め、悩み、そして笑う少女たちの心情をコミカルに描きだしている。

百日紅 ~ Miss HOKUSAI ~

第19回アニメーション部門審査委員会推薦作品

原 恵一

ジョバンニの島

第18回アニメーション部門優秀賞

西久保 瑞穂

たまこラブストーリー

第18回アニメーション部門新人賞

山田 尚子

ももへの手紙

第15回アニメーション部門優秀賞

沖浦 啓之

■上映スケジュール

8月19日[金]

10:30- 花とアリス殺人事件
13:30- たまこラブストーリー
16:30- 百日紅 ~ Miss HOKUSAI ~

8月20日[土]

10:30- ジョバンニの島
13:30- 花とアリス殺人事件
16:30- たまこラブストーリー

8月21日[日]

10:30- ももへの手紙
13:30- ジョバンニの島
16:30- 花とアリス殺人事件

8月26日[金]

10:30- たまこラブストーリー
13:30- 百日紅 ~ Miss HOKUSAI ~
16:30- 花とアリス殺人事件

8月27日[土]

10:30- 花とアリス殺人事件
13:30- たまこラブストーリー
16:30- 百日紅 ~ Miss HOKUSAI ~

8月28日[日]

10:30- 百日紅 ~ Miss HOKUSAI ~
13:30- 花とアリス殺人事件
16:30- たまこラブストーリー

各上映定員:110名

※要事前申込み

※席に空きのある場合当日受付

イベント (予定) ※全て参加無料

■子どものためのワークショップ

「プロジェクションマッピングこどもワークショップ」

小中高生を対象にした、自分のパソコンを使って、楽しいプロジェクションマッピングの制作ができるワークショップです。
広島第一線で活躍しているクリエイターがわかりやすく指導します。

日時:8月24日[水]-26日[金](3日間)13:00-17:00
(成果上映:8月27日[土]、28日[日])

会場:旧日本銀行広島支店 3F 会場

定員:15名

対象:小中高生

※要事前申込み

締切:8月10日[水](必着)

持参するもの:ノートパソコン(可能であれば)フリーウェアをインストールします

■トークイベント

「メディア芸術の楽しみ方」

第19回エンターテインメント部門で大賞を受賞した観客参加型の音楽劇「正しい数の数え方」を制作した岸野雄一とアニメーションを担当した西島大介が「メディア芸術の楽しみ方」をわかりやすく対談形式で語り合います。

日時:8月18日[木]14:00-15:00

会場:旧日本銀行広島支店 3F 会場

定員:50名

出演者(予定):岸野雄一、西島大介

※要事前申込み

※作品やスケジュールについては予定のものです。変更される可能性もありますので予めご了承ください。



旧日本銀行広島支店…JR 広島駅より市内電車「広島港（紙屋町経由）」行「袋町」下車
 頼山陽史跡資料館…旧日本銀行広島支店裏
 広島市こども文化科学館…JR 広島駅より市内電車 2 番・6 番乗車「原爆ドーム前」下車
 中央公園西側河岸緑地…JR 広島駅より市内電車 2 番・6 番乗車「本川町」下車
 JMS アステールプラザ…JR 広島駅より市内電車「広島港（紙屋町経由）」行「市役所前」下車
 合人社ウエンディひと・まちプラザ…旧日本銀行広島支店より徒歩

文化庁メディア芸術祭広島展

***Hiroshima* Media Arts**

<http://www.mediaarts-hiroshima.com/>

展示・上映・パフォーマンスの作品内容や、
 詳しいタイムスケジュールは公式サイトをご覧ください。

お問い合わせ：文化庁メディア芸術祭広島展開催委員会事務局
 広島市南区出汐2-3-19TSS新館2階 株式会社TSSソフトウェア内 TEL:080-2936-7231

